

# なほ

3月号  
vol. 217



ナイスなある日  
「楽塾「猿楽塾」公演「節分の鬼」の一幕」

第4回 /

大阪をチャリテイで明るく！  
まちづくリプロデューサーに聞く、  
地域の公園活用の可能性 Part1

まちびと 特集

探検

## 第4回

### 大阪をチャリティで明るく！ まちづくりプロデューサーに聞く、地域の公園活用の可能性Part1



# まちびと

## 探検

西成区北西部地域で住まう・働く  
10代~30代の若者たちが、  
各地の先進事例から「まちづくり」を学ぶため  
地域を飛び出し、街や人を探す旅にでる。  
若者たちの視点から見た北西部地域の課題や  
各地で行われているまちづくりを探ってみよう。

今回は株式会社街プロダクション代表であり、西区商店会「堀江の会」会長も務めるまちづくりプロデューサー・梅田りささんを訪ね、まちづくりや公園の活用に至る経緯、公園を活用したイベントの実例、それによる地域活性化の可能性について赤裸々に語っていただいた。その貴重なお話から西成区北西部における公園の新たな活用方法、その可能性を探り当てたい(全2回)。

### 地元に根づくために

**磯** まず、梅田さんが起業された経緯を教えてください。

**梅田** 私は神戸出身で、神戸でカフェと花屋さんの複合店舗を開業する予定でしたが、その矢先に阪神淡路大震災が起こり、とても開業できるような状況ではなくなりました。気持ちを整理し別の土地での開業を考えた末に、大阪に来ました。

**磯** 大阪はどうでしたか？

**梅** 最初の印象はあんまりよくなかったです(笑) みんなガツガツしてて、プライベート

にグッと踏み込んでくる感じもして。大阪での起業をあきらめて神戸に帰ろうと西長堀の高速に乗って車の外を眺めると「川も公園もあるし、神戸と似てるかも!」と思い直しました。30年前に引っ越してきて堀江でカフェと花屋さんを始めました。

**磯** 慣れない土地だと大変だったでしょう？  
**梅** 最初はほんとに大変でした。まずは近所の人たちと仲良くして覚えてもらうところからスタート。お茶やコーヒーを飲みに来るお客さんたちも、蕾の状態のお花は買っても満開の薔薇は買わないでしょ? だから「もしよかったらお家に飾ってください!」って満開の薔薇を渡したりしました。

そうするうちに、「近所とも仲良くなり、お店でのイベントにその人たちが来てくれるように...」って少しずつ発展させてきました。  
**磯** 知ってもらうには工夫があるんですね。

### 商店街への展開

**梅** そんな中、毎年お店で開催していたハロウィンのイベントが、アメリカ村の「アメ村

の会の会長の目に留まり、一緒にイベントをするようになるんです。

**磯** 時いた種が芽を出したってことかな。

**梅** もともとアメ村はすごく活気があって当時は、「若者の情報発信のまち」でした。でも、アメ村ってスピード感があってどんどん広がるんだけど、その結果イベントの質は落ちてしまった。だから、イベント運営は「アメ村の会」にお任せし、私は身を引きました。

**磯** そうなんですか。

**梅** まちの状況も変わってきました。その頃、梅田にグランフロント大阪が、阿倍野にはハルカスができて若者たちがそっちに流れ行っただけです。風営法も厳しくなり、クラブやライブハウスでもっていた若者のまちがどんどんと衰退していく。

そうなる中、行き場を失った若者がコンビニでお酒を買って公園に溜まりだしたんです。「これはそのまま放っておいたらあかんよな」と真剣に考えるようになりました。

**磯** 本格的な転機のようにですね。

**梅** 私たちは、グランフロントやハルカス

堀江の街全体(ショップ)を学校に見立てた職業体験プログラム「堀江こども学校」の様子



料理を作るのはシェフですけど、接客は子どもたちがします。教えてもらった通り注文をカウンターに置いて配膳をする。さらに、ランチ営業1日分の売上げを計算し

梅 この企画のきっかけは「子ども110番」。旗はあるけど何かあったときに飛び込めるかって言ったら、そうでないケースが多い。だから、「子ども110番」の参加店にこういった職業体験をやってもらおうと考

### コミュニティを意識した企画

磯 異文化交流に教育、社会も学べるなんて一石三鳥ですね！すごく参考になります。

もう、一つのコミュニティですよ？

梅 子どもがお世話になりました！って「学校」の日以外にも来るんですよ。こうなったらもう、一つのコミュニティですよ？

こうした取り組みの効果は小さくありません。親御さんはその店に食べに来ますし、「子どもがお世話になりました」って「学校」の日以外にも来るんですよ。こうなったらもう、一つのコミュニティですよ？

シェフは続けて「毎月、お父さんやお母さんはいろんな形で人を笑顔にして、その代価にお給料を貰う。これが仕事をするということなんですよー」。

て仕入れの金額を引き、収支を出すところまでします。シェフから皆さん、今日は楽しかったですか？子どもたちは「疲れたけど楽しかった！」



「これで600円なん！？」って驚くぐらいのサービスを提供してもらいました。幸い、この仕掛けが当たってチケットは6000枚売れました。それが協力してくれた店舗やみんなのやる気に繋がったと思います。

磯 どんなイベントですか？  
梅 周辺の飲食店やクラブハウスに協力してもらって、600円券を5枚綴りにした3000円チケットをつくったんです。さらに、この600円券を利用したお客さんが「これで600円なん！？」って驚くぐらいのサービスを提供してもらいました。幸い、この仕掛けが当たってチケットは6000枚売れました。それが協力してくれた店舗やみんなのやる気に繋がったと思います。

磯 それはすごい。  
梅 以来、いろんな工夫をして毎年開催していたら、「年一回のイベントのために街をまとめるんなら商店会を作ったらどうや？」となって、2014年に堀江の「面」の商店会「堀江の会」を設立しました。  
その時に初めて、自分の店でやっていいイベントが形を変え、いろんな人たちを巻き込むことでコミュニティが広がっていくことがすごい大事やと思いました。「大阪でおしゃれな若者のまち」という堀江のブランドを失くさないためにも、まち全体をひたつくるための公園利用のイベントや、いろんなお店を回遊するサーキット形式のイベントを実施する「まちづくり」に関わっていくようになります。

### 商店街からまちづくりへ

磯 聞けば聞くほど人との「つながり」や「縁」という言葉がしっくりきます。まちづくりに関わっていく経緯も教えてください。  
梅 ほんとにタイミングが合ったと思います。



も学校」という企画で応募しておかげさまでグランプリを取りました。

磯 すごくいいですね！

梅 「堀江こども学校」とはまちのお店での職業体験プログラムです。たとえばネパール料理屋さん。まず親子でお店に来たら、親御さんにはいったん帰ってもらいます。子どもだけになったお店では、はじめにネパール人のシェフにご自身の国や文化のことを話してもらいます。それからお店のレシピで子どもたちと一緒に料理を仕込みます。続いて配膳や接客のレクチャーを受けて実際にその日のランチタイムの運営を子どもたちで行うんです。

えました。9回ほど開催してたんですけど、コロナ禍以降は開催できていません。

磯 アイデアもそうですが、実施に協力してくれるお店さんが沢山いるのは梅田さんが地域のつながりを培ってきたからだし、実際にやることで顔が見える関係性が育まれる。地域の家庭にとってもお店にとっても良いですよ。まさにコミュニティです。  
梅 そうなんです。この後また、「このまち変えたんねん！」シリーズで公園を活用したイベントの募集に応募するんですけどね！

### 小括

いよいよ出てきた「公園活用」！Part 1では本当にパワフルでエネルギーシユな梅田さんにその半生と、想いを形にするまでの目的意識や関わる人たちの視点などを学ばせていただいた。Part 2では公園活用の事例、そして今後の活動などをお伝えする(6月号に掲載予定)。

文責…磯拓哉

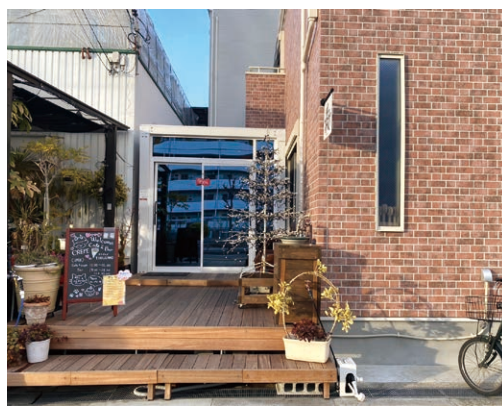


# にしなりもん

食いだおれの街・大阪ミナミのさらに南の街・西成。  
まだまだ発掘されていない「にしなりもん」を味わい尽くします。

## 音楽とクレープとノリと 「THOUSAND CAFE&BAR」

筆者は仕事柄子どもと話す機会が多く、去年の年末あたりからクレープを食べている子をよく見かけるようになった。聞いてみると「新しくクレープ屋さんでできた」という。その時は「そうなんだ」で終わったが、それからもクレープを買っている子を次々に見るので、詳しく聞いてみると筆者の職場



のすぐ近くであることがわかった。まさに灯台下暗し。今回はその噂のお店「THOUSAND CAFE&BAR」を訪ねる。

土曜日の夕方に訪れると、こぢんまりとした店内は近所の子どもたちでいっぱい。マスターとオーナー2人でお店を切り盛りしていて、夜はBARとして営業している。急な訪問かつお忙しい中にも関わらず、アットホームな感じでたくさんお話をさせていただき、とても居心地のよい空間だった。

さて、いざ注文と思い、メニューを見るとお屋のCAFÉ、夜のBARどちらもお手頃価格！クレープは「シュガーバター」150円や「キヤラメルカスタード」300円など、子どもがお小づかいを握りしめて来やすい価格設定。そこにイチゴやホイップなどをトッピングもできるシステム。またおかず系の「ツナマヨコーン」や「やきぶたマヨ」などもあり、おかず系のクレープを食べている子どもも多かった。美食すると、低価格ながらクレープの甘くて美味しい味がしっかりと染みわたった。

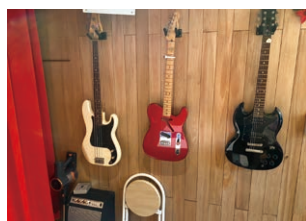
夜もメニューを見てみると、400

〜500円の価格帯が多く、お酒も含めてリーズナブル、こだわりのビールは海外ものを揃えていて、ドイツビールが好きな筆者は屋でなければ飲めないので、と心の中で思う。

マスターにお店のことを聞いた。去年の12月に脱サラしてお店をオープン。「お店を始めたきっかけは？」との問いには「ノリで！」とのお答え。夜のBARは音楽好きの集まりでもあるようで、店内のテーブルがDJブースになり、壁にはギターが飾られてあったり、随所にこだわりが見られた。

マスターはパンクバンドのメンバーとしてツアーでアメリカを回ったこともあり、さらに最近ではVRの中でアバターを通じて音楽活動をしているそうだ。その空間の中では海外の人ともみんな楽しんでいけるらしい。そんなお話を聞きながら、昭和で感覚が止まっている筆者はそのスケールの大きさに「ハァー」という言葉しか出なかったのが申し訳ない。

クレープ発祥の地と言われているフランスでは、2月2日の聖燭祭の日、



ローマに詣でた巡礼者が教皇より聖体パンを下賜される行事にならない、家庭でクレープを焼いて食べる習慣があるそうだ。

今回筆者が訪れたのも偶然2月(日は少しずれているが…)。この偶然を運命とし、また地域に多世代の憩いの場ができたことに感謝し、さらに生クリーム大好きな筆者の職場近くにクレープ屋さんでできたことも喜び、今後地元根付いたお店になることを願いながら、筆者も少しは音楽や仮想空間のことを知らなければならぬと思う今日この頃であった。

文責…笹川勝正

### THOUSAND CAFE&BAR

住所：西成区出城3の2の9

営業時間：CAFÉ 11時〜16時

BAR 19時〜24時(ラストオーダー)

定休日：日曜日・月曜日

Instagramアカウント：@torikko1000

【磯拓哉】色んなお店で軽く呑むせんべろが趣味。そろそろワンパターンになってきてて、閃いたのがスゴク笑！ 沿線を決めてサイコロを振ったその駅周辺でせんべろするのが、マイブームです。



【沖田一志】精米器がシンク下に収まるようにDIY。上に棚があって精米器の蓋を開けられなかったので、スライドレールを購入して棚板ごと引き出せるように加工してみた。めっちゃ便利になった。



【笹川勝正】先日出席したある事業報告会で「子ども食堂が全国〇箇所以上に広がりました」という話があり、CMでもアピールしていました。果たしてそれはいいことかと疑問に思う今日この頃です。



【住友宣夫】だんだんと寒さが落ちてきました。多くの人がつらい花粉症のシーズン到来！外に出るたびに症状が出る時期です。早く花粉が落ち着くシーズンになって欲しいですね。



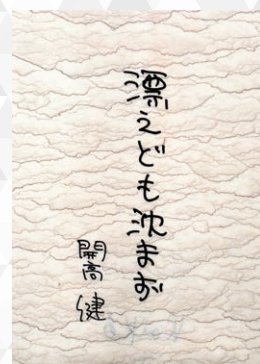
# 些事争論

些事でも何でも気になったらあれこれ考えてみよう。いいこと思いつくかもしれないし。気がついたら西成にたどり着いていた、或るオタクの放浪系コラム。

## 「漂えども沈まず…」

とにかく落ち着きのない、じっとしているのが苦手な子どもでした。長じてからも、仕事、住居を転々とし、引越は十数回を数えます。いまなら間違いないAHDHD(多動性スペクトラム症候群)と診断されたでしょう。  
 注意力散漫、思いついたら我慢できず衝動的に突飛なこと、とんでもないことをやらかしてしまいます。  
 おかげで、これまでに三途の川を渡りかけたことが幾度かありました。  
 最初は小学校にあがってすぐ、近所の海岸で同級生たちに「弱虫やーい」と馬鹿にされて(実際、夜中に一人でトイレに行けないほど臆病者でした)、腹立ちまぎれに沖に向かって泳ぎ出して潮に流され溺れました。  
 2度目は高校生の時に北海道に出かけ、無謀にもいきなり知床半島単独縦走に挑戦。凍った雪が残る雪渓で滑って谷底に転落しそうになるものの、途中で斜面のハイマツの枝に手が伸びて止まりました。  
 3度目は雑誌記者でカンボジアをバイクで取材旅行中、有名なアンコールワット遺跡に向かっていてる途中、いきなり背後から小銃で撃たれました。弾は

逸れましたがその衝撃におしっこをもらしてしまいました。  
 4度目は帰郷して、「絶対無理、B29に竹槍のようなもんじゃ」と嘲笑されながら、旧態依然とした利権政治への怒りで勢いだけで立候補した町長選にわずか53票差で当選。  
 利権や人事で守旧派の言うことを一切聞かなかったため、反対派の若い衆が自宅まで押しつけてきて、  
 「殺しても初犯で懲役の態度が良かったら10年かからんで出所出来るんだぜえ」警察に相談しましたが、「事件になってからでないと動けないですねー」とつれない返答。そ、そんなあ、事件が起きてからでは遅いんだけど…。  
 それでも懲りず、思い立ったら後先を考えずにやらかしてしまう性格は一向に治らないまま。相変わらず彷徨い続けているうち、ひよんなことから縁あって徳島の片田舎から大阪に出てきて西成の街づくりに関わるようになります。  
 大阪が生んだ大作家、開高健さんの名言に「漂えども沈まず」がありますが、まさにフワフワと彷徨い放浪しながら流れ流れて西成にたどり着いたわけです。  
 大阪に引越すことを知った友人か



ら、「西区で良かったなあ。」字違いでも西成だったら大変やったぞ」と言われ、「いや、その西成なんだけど…」。  
 いろんな噂や情報から生易しいところではないとは思っていましたが、まさかその街で暮らしながら働くことになるとはまったく想像しませんでした。  
 この街の、おせっかいなぐらい世話を焼く厚い人情のひとたちが大好きになりました。やっつかいな放浪癖ですが、そのおかげで西成と出会うことができ、西成Loveの一員になりました。  
 このままずっとこの街で暮らしたいと思いましたが、郷里の母が90歳代半ばになり、妻と娘だけでは介護仕切れなくなり、今春に帰郷することになりました。ありがたう、西成、また用事を作っちゃくちよく戻ってきます。  
 ハンプティ・T

# melody of smiles



2月3日は節分の日、GCCKidsに鬼がやってきた！小さなクラスでは怖くて泣きだす子もいましたが、みんな、先生と力を合わせて鬼退治！！GCCKidsでは鬼のお面を作ったり、恵方巻を作って食べたりと日本の季節行事も楽しめます。



大阪市在住民参加型地域組織「地域活動協議会」の活動に橋を架けよう「近ツ橋【ちかつきょう】」

# 近ツ橋

レコードで聴く昭和歌謡



最近サブスクリプションで好きな時にいくらでも音楽が聴けるので、CDショップやレンタル店に行くことがめっきり減った。学生時代はレンタルショップで借りたCDをMDへダビングしてよく聴いていた。今となっては面倒くさいが、当時は自分の好きな曲の買ったMDを作るのがとても楽しかった。学生時代によく使っていた音楽再生機器に思い入れがある人も多いだろう。今回は天下茶屋地活協主催



の「レコードで聴く昭和歌謡」を取材した。このイベントは1月21日に天下茶屋老人憩いの家で開催され、15名ほどが参加。席につくと熱々のホットコーヒーが振舞われ、地域のみなさんが持ち寄ったレコードで音楽鑑賞がスタート。レコードで音楽を聴くのは初だったが、重厚感があり聴きごたえが良かった。参加者は体を揺らしてリズムにのり、当時の曲の思い出話に花を咲かせていた。  
 もしレコードが家で眠っているなら、次回「レコードで聴く昭和歌謡」に持ち込み懐かしい思い出に浸ってみてはいかがだろうか。

[福井龍磨]1976年に出た「土とふるさとの文学全集」(全15巻)を読んでいる。今や忘れ去られた感のある「農民文学」の貴重な集成。刻まれている言葉には、いま流行の文学にはない重みと力強さがある。



[西田吉志]今から8年前「部落差別について教えてほしい」と、東京から単身でゆ〜とあいを訪れた大学生がいた。最近、その学生から勤務先の会社の地域貢献として「ゆ〜とあい」を応援したいという連絡。大変嬉しいことだ。



[谷口円][note]の売上TOP1,000人の年間平均売上が1,160万円らしい(2023年度)。年々増える個人が売上を作るプラットフォーム。でも、結局売れる人はどこでも売れて、逆もしかりな気がする。



[田岡秀朋]奥能登の人口が1年間で5.5→5万人という報道があった。西成区は5年間で0.6万人の日本人が減少したが、外国人の流入で人口は維持できている。そして、20歳代の過半が外国人の区になった。



# 葉っぱの吐見

私は草木が大好きです。とくに観葉植物には心癒されます。私と葉っぱとのお喋りを聞いてください。



## 「莓の葉っぱ」の巻

莓ってすごいよね。超！人気だよ。そのまま食べてもいいのにさあ。変身なんかしちゃってさあ。ジュースにジャムでしょ。ケーキなんて最高じゃん。ところで気づいたりしない？ 忘れてたりしてない？ 莓って葉っぱあったよね。頭にちよこんってさあ。みんな知らないのかなあ。葉っぱも食べれるってこと。肌がツルツルなるんだよ。血がサラサラになるんだよ。飾りじゃないからね。まじ葉っぱもウケる。

赤井まゆみ



### 莓のこと

甘酸っぱい風味と香り。栄養的にビタミンCが豊富。花言葉は「幸福な家庭」「先見の明」

# 皮算用 胸算用

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちに皮算用していることを語っていくよ。



連日のテレビ報道を見ていると、フジテレビが大変な事になっている。社会的な影響力が大きい会社の対応が変わり、社員や関係者の人権を大切に考える考えが浸透してきているのは良いことだ。しかし、この人権問題を所管・対応する権限を持った組織が日本にはないことが今回の問題を大きくしているようにも思う。世界の先進国には政府から独立した「人権委員会」が設置されており、事件個別に第三者委員会を設置しなくてもいい状況にある。当事者のフジテレビにはきつと真相を解明することはできないだろう。「人権委員会」があれば権限をもって対応できるはずだ。現状では人権侵害事象が起こって法務局や役所に訴えても「権限がないので事実の確認ができない」と返してくる。人権侵害事象に対応できないこの国を何とかしたい。(寺本良弘)

# い湯かげん

## 西成から居住支援を考える

にしなり隣保館ゆくとあい(寺本良弘館長)と(株)ナイスで取り組んでいるテーマに、「住宅セーフティネット法」を活用した住まい支援事業がある。

元来、部落解放運動は公営住宅に熱心で、また社会福祉には生活保護による住宅扶助があって、住宅に困った人を応援してきた。しかし、高齢者や障害者、子育て世帯、低所得者など住宅の確保が難しい人々(これを「住宅確保要配慮者」と呼ぶ)が急増し、公営住宅や生活保護制度だけでは間に合わなくなった。また他方で、民間賃貸住宅で高齢者や低所得者が入居を断られるケースも増えてきた。

そこで、入居希望者と家主双方を支援するために2007年に住宅

セーフティ法が制定され、2017年の改正を機に、民間賃貸住宅の登録制度や居住支援法人制度が導入された。(株)ナイスは登録住宅(全国の5%にあたる42673戸が大阪府に、ゆくとあいは支援法人全国の2割にあたる187団体が大阪府)に登録している。簡単に言えば、「入居を断らない」家主が登録してくれば、ゆくとあいや(株)ナイスが保証人確保や生活支援を行うということだ。

この法が2025年にも改正される。4月から、生活困窮者の相談窓口で家賃の低い住宅へ転居希望されると、「転居費補助」が受けられる。「引越し貧乏」を防ぐことができる。また7月から「居住サポート住宅」という制度もできる。住宅確保要

配慮者が安心して入居できるよう、生活支援や見守りサービスなどの支援がついた民間賃貸住宅のことだ。

西成区ではこの20年来ホームレス支援をがんばってきた。その分、かなり老朽化した賃貸住宅が「ゼロ物件(敷金と礼金なし)」となり、家賃が生活保護の住宅扶助上限額に張り付く現象がおこった。それが「貧困ビジネス」の温床になる。行儀の悪い居住支援法人が「困い込み」をしているという噂も聞く。

今度の制度改正で区をまたぐ転居がどう位置づけるかは不明だが、もし西成区や生野区という低家賃の住宅が残るエリアに転入が集中しても、居住サポート住宅制度で「貧困ビジネス」は抑制され、居住支援法人がいい加減なこととしても「見える化されることになる」。

公営住宅の活用についても動きがある。西成区北西部にはすでに1500戸の市営住宅がある。しかし、随時入居は困難で入居決定まで時間がかかりすぎるし、ファミリー向けの入居にはハードルが高い。国交省は、公営住宅の目的外利用として、居住支援法人等がサブリース



富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。

(また貸し)することを認める通知をすでに出しており、大阪市営住宅の指定管理者公募(2021年)でも、「地域の関連団体等と連携した生活再建の視点を踏まえた居住支援サービスの提供を優先度の高い項目として設定すること」とされた(生野区選出の武直樹市議が提案)。それなら、西成区北西部で公営住宅を活用したファミリー向けの「居住サポート住宅」をモデル的にでも実施できないか。これは西成区の方針すべてはこどもたちのためにも合致するではないか。ゆくとあいは来年度から「ひと・まち・げんき助成」事業に立候補し、公営住宅での取り組みを進めようとしている。どうやら機が熟してきたようだ。



[山村裕太]最近友人とネット麻雀をするのですが、国士無双ってあがる瞬間より聴牌した瞬間の方がテンション上がりませんか？ ちなみに国士無双は中国前漢の時代の韓信が元という豆知識を添えておきます。



[安田拓也]今月号を以って「なび」への投稿をお休みたいです。勝手気ままに書き続けましたが、日常の中の少し違う景色をお届けできていたら幸いです。長い間ありがとうございました。



[若松司]2月8日はこの冬いちばんの寒さだった。朝の通勤時、薄水に覆われた駅前の陸橋を滑ってコケないようにこわごわ歩いた。厳しい寒さも、ときに懐かしい気分させてくれる。

地域の縁を心でつなぐ

# 松の寺こい 心の時間

「先日、愛犬が七歳で亡くなり、こんなに早く死ぬなんて、かわいそうで胸が張り裂けそうです。こんなことなら、入院やしんごい治療を受けさせるよりも、自宅で家族と一緒に過ごした方が良かったのでは、と後悔しています。」

深い喪失感と後悔に苦しむお話でした。しかし、愛犬のことを一番に思って選んだ行為ならば、残念な結果であっても、後悔する必要はありません。

そもそも「死」は「生まれた」ことの約束、「別れ」は「出会った」ことの約束に過ぎません。分かっている「別れ」はやっばり辛く寂しいものですが、たとえ七年という短い年月であっても、愛犬との出会いは掛け替えない思い出、「宝」を残してくれたことでしよう。そしてその別れの悲しみが残された人の心を「強く」「優しく」変えたのなら、その死は意味あるものになります。私にも愛犬（マメちゃん）を亡くし涙を流した経験がありますが、愛犬はいつも私の心の中で生きています。今はそのことを大切にしたい人生を歩んでいます。

松向寺 通法

2024年12/21(土) 18:00~20:30 (17:30開場)  
プログラム ● 楽塾応援団総代会 ● 楽塾公演「節分の鬼」 ● 自評会  
※ 楽塾公演 18:00開演



楽塾開塾17周年記念レセプション

## 遊び

昨年『なび』12月号が楽塾「遊び編」の最終稿でした。ご愛読を感謝いたします。2001年にハンディのある人たちと交わり、08年、「遊びを学び、学びを遊ぶ—新しい学校の冒険」とする居場所(楽塾)を開きました。開塾17周年となる昨年1年間を演劇活動に費やし、12月末、塾生による『節分の鬼』の上演を実現できました。楽塾協力者や友人たちの参加、ゆ〜とあい / NICEスタッフたちの協力、塾生の持続力、そして演出家島さんの格別なご苦労。その支えが楽塾演劇版『猿楽塾』の原動力でした。皆さんに大いなる感謝を伝えます。  
(楽塾 / 佐々木)

## ゆ〜とあい

にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆ〜とあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか？お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび 3月号 (vol.217)  
発行日: 2025年 3月 1日 (創刊日: 2007年 1月 1日)  
発行: 株式会社ナイス  
住所: 大阪市西成区長橋 3-6-33  
電話: 06-6563-1150  
E-mail: info@nice.ne.jp  
url: https://www.nice.ne.jp/

編集長: 西田吉志  
編集: 磯拓哉、沖田一志、笹川勝正、住友宣夫、田岡秀朋、福井龍磨、安田拓也、山村裕太、若松司 (あいうえお順)  
イラスト: hidarimaki、西井亜花梨  
デザイン: 谷口円

(株)ナイス  
ホームページ

